

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年8月16日(2018.8.16)

【公表番号】特表2017-525671(P2017-525671A)

【公表日】平成29年9月7日(2017.9.7)

【年通号数】公開・登録公報2017-034

【出願番号】特願2017-500060(P2017-500060)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/51 (2015.01)

A 6 1 K 35/50 (2015.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/14 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 9/06 (2006.01)

A 6 1 K 47/30 (2006.01)

C 0 7 K 14/78 (2006.01)

C 1 2 N 5/071 (2010.01)

【F I】

A 6 1 K 35/51

A 6 1 K 35/50

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 9/14

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/06

A 6 1 K 47/30

C 0 7 K 14/78

C 1 2 N 5/071

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月4日(2018.7.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

血管形成術またはステント移植の部位への、または血管形成術またはステント移植の部位に近接した、配置のために構成された微粒子化ワルトン膠質粒子であって、前記粒子は 3 0 0 μ M 以下であり、前記粒子は胎盤組織を実質的に含まない、微粒子化ワルトン膠質粒子。

【請求項 2】

約 1 0 μ M ~ 約 1 0 0 μ M の直径を有する粒子を含む、請求項 1 に記載の微粒子化ワルトン膠質。

【請求項 3】

約 2 5 μ M ~ 約 7 5 μ M の直径を有する粒子を含む、請求項 1 に記載の微粒子化ワルトン膠質。

【請求項 4】

粒子の混合物を含む、請求項 1 に記載の微粒子化ワルトン膠質であって、
約 50 % の前記粒子が約 40 μ M 未満の直径を有し、約 25 % の前記粒子が約 40 μ M
～約 60 μ M 未満の直径を有し、約 25 % の前記粒子が約 60 μ M 以上の直径を有するか
、または
約 25 % の前記粒子が約 40 μ M 未満の直径を有し、約 25 % の前記粒子が約 40 μ M
～約 60 μ M 未満の直径を有し、約 50 % の前記粒子が約 60 μ M 以上の直径を有する、
微粒子化ワルトン膠質。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の微粒子化ワルトン膠質と医薬的に許容される担体
とを含む組成物。

【請求項 6】

前記医薬的に許容される担体が水性担体、水、生理食塩水、またはリン酸緩衝食塩水で
ある、請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 7】

微粒子化ワルトン膠質の濃度が約 0.01 g / mL ～約 1 g / mL、約 0.1 g / mL
～約 0.5 g / mL、または約 0.2 g / mLである、請求項 5 ～ 6 のいずれか 1 項に記
載の組成物。

【請求項 8】

前記組成物が注射用であるか、液体、ゲル、またはペーストである、請求項 5 ～ 7 のい
ずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 9】

請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の微粒子化ワルトン膠質を含む注射用ゲル。

【請求項 10】

請求項 5 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の組成物を含む注射用ゲル。